

2026年1月28日 実施

## 関西医科大学

一般 生物

# 解答速報

医学部専門予備校  
医学部特訓塾

# 医特

## I

- (1) 生態系      (2) B, D      (3) B, C      (4) A, C, F  
 (5) B, D, F      (6) A, B      (7) C, D      (8) B, D, F

## II

- 問1    ア 1    イ 9    ウ 4    エ 6    オ 14    カ 13    キ 5  
        A 4    B 2    C 3    D 1  
 問2    3  
 問3    4  
 問4    75%

## III

- 問1    A 中    B 2    C ネフロン    D バツプレシン  
 (Cは文中に「腎臓の機能単位である」という説明から「ネフロン」のみを正解とした)
- 問2    B, D
- 問3    (1) 図は省略(横軸が0~200までは実線と同じ右上がりの直線で、横軸200のところから徐々に下側に離れていき、横軸250~600までは縦軸の値が300のX軸と平行な直線になるように、ひとつなぎに描けばよい。)  
 (2) 7500 mL
- (血糖濃度が200 mg/100 mL のとき、グルコース移動量が250 mg/分であることより、1分間に125 mL の原尿がろ過されたことから、 $125 \times 60 = 7500$  mL)
- 問4    (1) 1200 mL  
 (2) 75%

## IV

問1 (1) お (2) い

問2 (1) A シュワン細胞 B ランビエ絞輪 C 軸索

(2) (a) 12 m/s (b) あ

(3) (a) 記号：え

説明： 細胞内から細胞外へ漏出性カリウムチャンネルを通して、カリウムイオンが流出している。(字数制限内に収まるのであれば、「漏出性」は、「リーク」、「漏洩性」、「電位非依存性」と表記してもよい。)

(b) A： え, き B： い, く

問3 (1) い (2) う

**【講評】**

大問I 例年通り、小問集合が出題された。多くの問いが該当するものを「すべて選べ」という形式のため、暗記があいまいだったり、問題文を丁寧に確認しなかったりして、得点が伸ばせなかった受験生も多かっただろう。

大問II ショウジョウバエの発生に関する知識問題を中心に、遺伝の考察問題も一題された。知識、考察ともにほぼすべてが標準レベルであり、選択肢も用意されていたため、きっちりと得点をしておきたい大問であった。

大問III 腎臓の構造と機能について、知識問題と計算問題がバランスよく出題された。知識は標準レベルであり、点を落とさず取り切りたい。計算問題は、医学部受験では過去にも出題されたことのある形式であったが、演習経験の少ない受験生には難しく感じるものだった。受験生によって大きく差がついた可能性が高い。

大問IV 脳と神経に関する知識と計算、考察が問われた。知識と計算のほとんどは基本的なものであったので、ミ確実に得点しておきたい。神経回路を用いた考察は一つ前の興奮に由来する抑制性入力を忘れさえしなければ、あとは丁寧に考えるだけであったが、ミスをしやすいタイプの問題だったので点差がついたと思われる。

得点目標は7割としたい。